

# みんなが食と文化の交流を満喫!

## 食と文化の市民まつり

# 大きくなって、もどってきてね!



▲広田・御原・三原・南淡の中学生合同ブラスバンド演奏。100人を超える壮大な演奏が会場を魅了

南あわじ食と文化の市民まつりが、10月10日と11日の両

日開催されました。

10日は、前夜祭として、市民カラオケ発表会が緑市民センターで行われ、11日には、淡路ふれあい公園でステージイベントと「食の市」が催されました。秋空の下、木々と芝生の自然に囲まれた公園の特設ステージでは、中学生合同ブラスバンドや地元高校生バンドの演奏、保育園児の演技や伝統芸能の奉踊り、和太鼓など、幅広い層の市民が多彩な催しを披露して熱気に包まれました。また、食の市では、安全安心



▲老人クラブ連合会も協力しての「もちつき体験・振舞い」



▲稚魚(オコゼ)を放流する親子



▲振る舞いを食べる子どもたち。「どれもおいしいよ!」



▲アナゴを焼いているそばは、良いにおいでいっぱいでした

## ひろめよう交通安全の意識を!

シートベルト着用や交通マナーの向上、高齢者の事故防止、飲酒運転根絶等、市内全体に交通安全の輪を広げようと、南あわじ市交通安全大会(市交通対策協議会主催)が9月26日、三原健康広場体育館で行われました。功労者や長期無事故運転者、標語入賞者の表彰と優秀作文の発表が行われ、約200人の参加者は、交通事故の無いまちの実現に向けて、なお一層の活動を続ける決意を新たにしました。



▲アトラクションでは兵庫県警察音楽隊の演奏も行われました

市内外の小中学生や高校生を対象に、自由なテーマで映像作品を募った「わんぱく子ども映画祭」の表彰式を10月17日、国立淡路青少年交流の家で開催しました。作品は、ホームビデオで3分以内に撮影した映像。上位入賞の15作品には、12月5日に鹿児島県指宿市で開かれる「アジア国際子ども映画祭」への出品の切符が贈られました。作品の講評では、「今回初めてカメラを握った子どもが多く、大変だったと思う。本能的に撮影した人、テーマを持って撮影した人、体験をドキュメンタリーに表現した人などの中で、明確に表現できた人が受賞につながった」と話していました。

同映画祭大会会長の中田市長は、「大人では気が付かない感動を、映像に込めてもらえたらとの思いがあった」と語りました。選考作品の上映

※受賞者一覧は13頁

## 米飯給食キャンペーン

## J Aあわじ島より新米寄贈

## J R三ノ宮駅前で田舎暮らし相談



▲中田市長と給食を食べる児童



▲べろりと平らげられた新米

食の大切さや、食を支える農業に感心を持ってもらおうと、9月28日、JAあわじ島から新米約440kgが寄贈され、市内の全小中学校の給食で振舞われました。この日寄贈された新米は、9月に収穫されたばかりの、全一毛作で育て、自然乾燥させた「特選米」のキヌヒカリ。JAあわじ島の食農教育の一環として、倉本満

之組合長から中田市長に目録が贈呈され、その後、松帆小学校児童と一緒に給食を味わいました。児童たちも、「お米がやわらかくておいしい」と笑顔でご飯をほおばり、残さずきれいに平らげていました。

▲みんな笑顔で新米を試食「甘くておいしい」

都市生活者や退職者などで田舎暮らしを望む人々のために9月26日、JR三ノ宮駅前で行われた「田舎暮らし相談会」(ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会主催)を開催しました。この相談会には、南あわじ市のほか、淡路や播磨、但馬、丹波地域の市町が参加。地域の物件情報の照会や住環境の相談などを行いました。また、相談には、「第2のふるさとを求めている人」「子育て環境を求めている人」など、さまざまな人々が訪れました。希望



▲淡路地域の田舎暮らし相談ブース

## 下水道接続推進工事店を表彰

市指定下水道接続工事店を対象に9月29日、下水道接続推進大会を三原公民館で行いました。同大会では、市指定の工事店の中から選ばれた優良店3事業所を表彰。18〜20年度で工事件数が多く、工事内容も優れており、他の事業所の模範となる事業所として、表彰しました。中田市長は、「事業投資の負担は重い、下水道設備を一刻も早く整備したい。ただ、加入促進が思うように進まない。ランニングコ



▲中田市長から表彰状を受け取る事業者

ストを下げるには、加入を進めていくしかない。それには事業所の協力も必要です」と話しました。表彰事業所 ◆有限会社井宗商店 ◆株式会社原口 ◆沢田設備

## 子どもの虐待をなくそう! 11月は児童虐待防止推進月間です



オレンジリボンには子どもの虐待を防止するというメッセージがこめられています。

### 子どもを虐待から守るための5か条

- ① 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
- ② 「しつけのつもり…」は言い訳
- ③ ひとりて抱え込まない
- ④ 親の立場より子どもの立場
- ⑤ 虐待はあなたの周りでも起こりうる

あなたのまわりに「虐待を受けたと思われる子ども」がいたら、次の連絡先に相談してください。これは、私たち一人ひとりの義務です。

【連絡先】福祉課 ☎44-3013  
児童虐待24時間ホットライン ☎078-921-9119

### オレンジリボン・キャンペーンinひょうご ~兵庫を翔ける!笑顔と願いのオレンジリレー~

◇日時 11月21日(土) 14:00~16:30  
◇場所 西淡公民館  
◇講師 大阪青山大学客員教授 桂蝶六氏ほか  
園児児童養護施設 淡路学園 ☎45-0412